

CT 穿刺器ニードルガイド

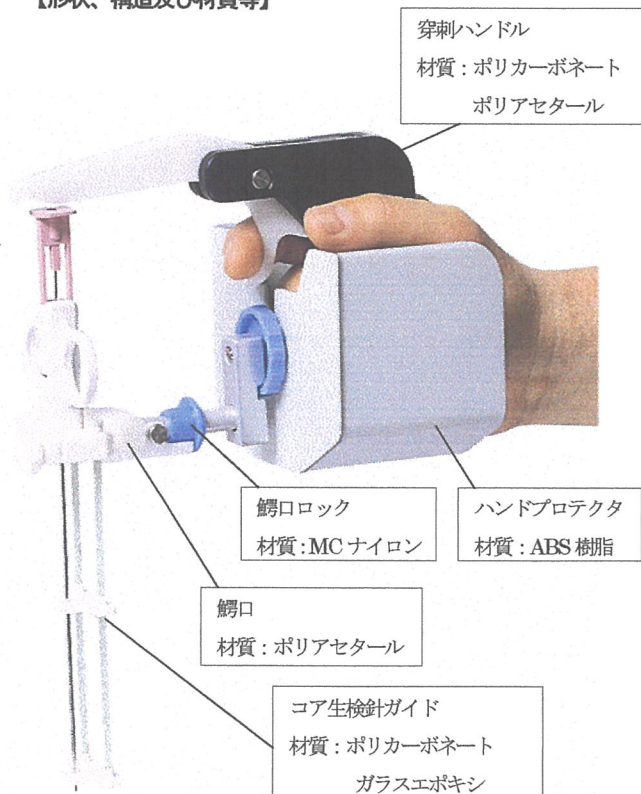
【警告】

有資格者以外は、本器具を使用しないでください。
未滅菌での使用はしないでください。

【禁忌・禁止】

- ・本器具は改造してはなりません。安全性または機能を損なうことになります。
- ・オートクレーブ滅菌はしないでください。
- ・洗浄にはアルカリ性の洗浄剤は使用しないで下さい。
(ポリカーボネート、ポリアセタール、アルマイト処理の耐アルカリ性は不可です)

【形状、構造及び材質等】



このCT穿刺器ニードルガイドは、穿刺ハンドルと生検針ガイドで構成されます。

尚、このコア生検針ガイドは下記コア生検針専用です。

MDTECH (MEDICAL DEVICE TECHNOLOGIES INC.)
Super-Core II (18G or 20G/15cm)

【使用目的、効能又は効果】

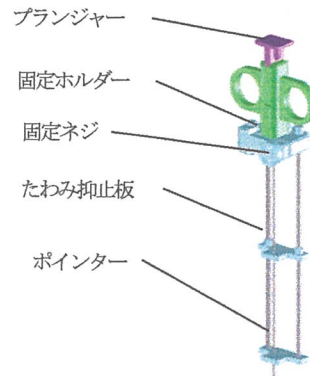
組織採取を目的として生検針に装着して穿刺するために用いる穿刺器具である。

【品目仕様】

1. 採取多能な組織の体表面からの最大深さ：約110mm
2. 患者体表面とCTガントリー間の最小必要距離：約260mm
3. CTスライス面と本器の把手までの距離：約120mm

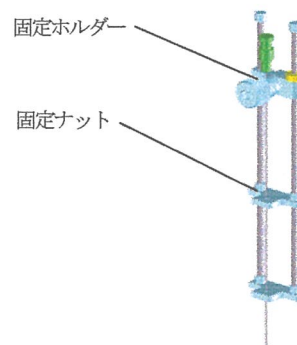
【操作方法又は使用方法等】

(1) コア生検針ガイドへの針の装着



生検針をたわみ抑止板とポインターの孔を通して固定ホルダーにはめ込み、固定ネジをしっかり締めてください。
最後にたわみ抑止板を生検針ガイドの中間にセットしてください。

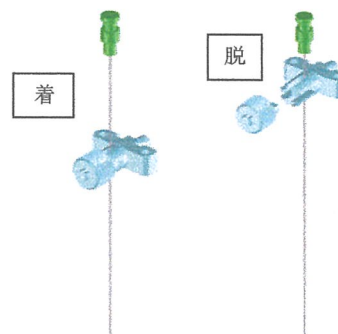
(2) 吸引生検針ガイドへの針の装着



固定ホルダー、たわみ抑止板、ポインターの孔に針を通し、締付けナットで強く締付けてください。
最後にたわみ抑止板を生検針ガイドの中間にセットしてください。

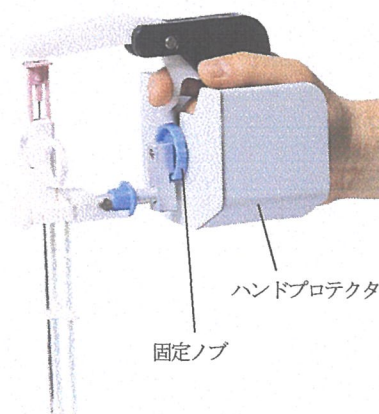
(3) 吸引生検針ホルダーへの針の着脱

このホルダーは、16G以上の太い針で穿刺針ガイドを使用なくとも、針のたわみが生じないケース等で使用してください。



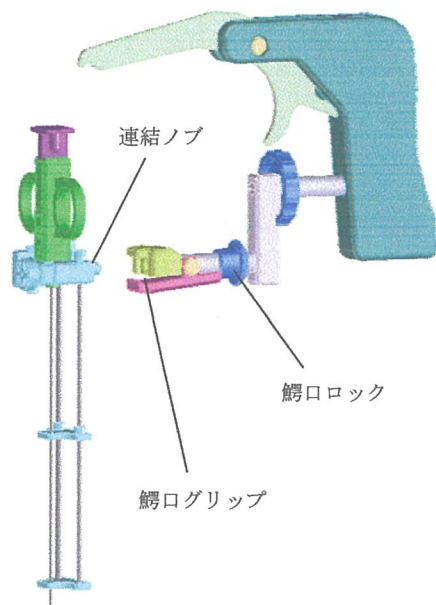
固定ホルダーの孔に針を通し、締付けナットで強く締付けてください。
また、刺入状態で固定ホルダーを取り去る時は締付けナットを緩めて抜いてください。

(4) ハンドプロテクタの装着



固定ノブを回してシャフトの溝を広げ、ハンドプロテクタをシャフトの溝に差込み、固定ノブで締付けて下さい。
溝に差込む際無理な力を加えますとハンドプロテクタが破損する恐れがありますので注意してください。

(5) 穿刺ハンドルへの穿刺針ガイドの装着



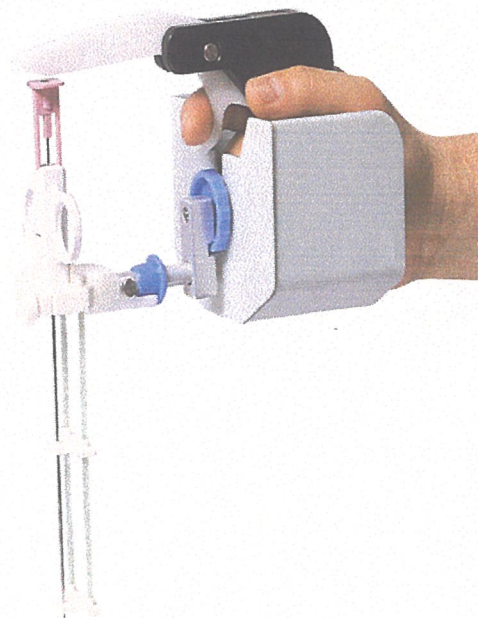
連結ノブを鰐口グリップの孔に差し込み、鰐口ロックをしっかり押し込んでください。

【包装】

品 名	型 名	数 量
穿刺ハンドル	RBH-1A	1
コア生検針ガイド	RCG-1A	5 (別箱)
吸引生検針ガイド	RSR-1A	1
吸引生検針ホルダ	RSH-1A	1
ハンドプロテクタ	RPH-1A	1

製品履歴管理：出荷履歴を箱の側面に表示した serial 番号で管理しておりますので、ご使用開始時にこの番号を記録しておいてください。

(6) コア生検針の刺入・試料捕獲



左図のように穿刺ハンドルを持ち、生検針を採取目標部位の手前まで刺入し、引き金でプランジャーを押してスタイレットを進め、試料ノッチを露出します。さらに強い力で引き金を引くと、カニューレがノッチを閉ざすようにして試料を捕獲します。

生検針の取扱いは、生検針の取扱説明書をお読みください。

【使用上の注意】

(1) 使用条件

- ・ 穿刺ハンドル：洗浄、滅菌消毒を行って繰り返し使用してください。
- ・ 針ガイド：単回使用としてください。

(2) 滅菌方法

ガス滅菌又はプラズマ滅菌をしてください。
(オートクレーブ滅菌は不可)

【製造販売業者の名称及び住所】

製造販売業者名：(株) 六濤

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-3

TEL: 03-3813-7045